



COMMISSION INTERNATIONALE DE L'ECLAIRAGE
INTERNATIONAL COMMISSION ON ILLUMINATION
INTERNATIONALE BELEUCHTUNGSKOMMISSION

JCIE 翻訳出版 No. 21

画像の色差評価方法

CIE 199:2011

METHODS FOR EVALUATING COLOUR DIFFERENCES
IN IMAGES

(日本語訳)

一般社団法人 日本照明委員会

Japanese National Committee of CIE

置の評価に応用される。ISO 12640-2 [52]に含まれている XYZ/SCID 画像は、画像再現の連鎖の中でも中間段階の評価に用いることができる。

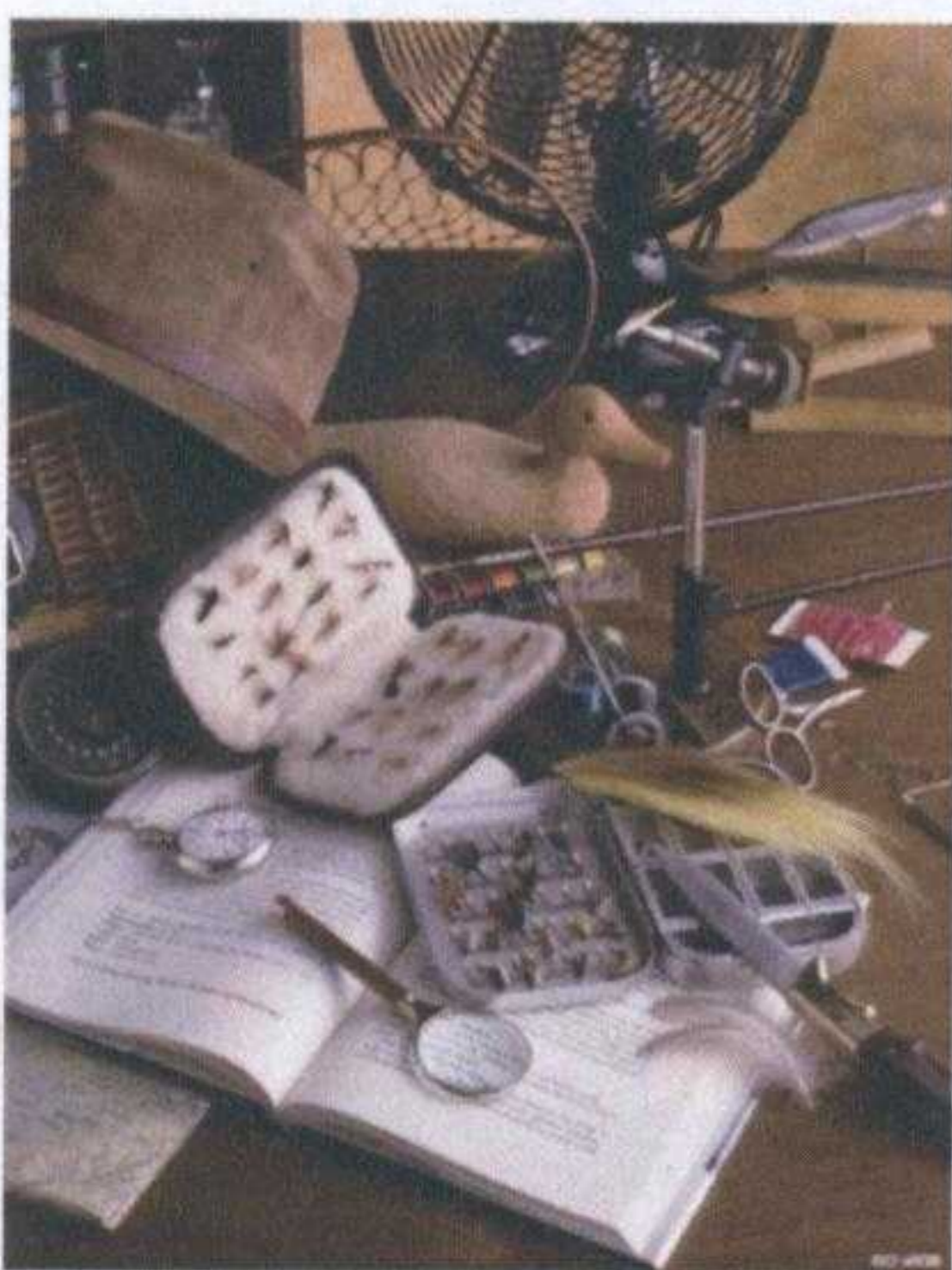
これらの画像は ITU-R BT. 709-3 RGB 原色の三刺激値[54]で定義された色域限界で制限され、標準 sRGB ディスプレイに対する出力参照型で、観察条件は IEC 61966-2-1 [36]で定義されている。二つのラスタデータ符号化されたものが用意されている。IEC 61966-2-1 で定義された 8 ビット sRGB および 16 ビットの CIE XYZ 画像データがそれで、CIE XYZ の 3 刺激値ディスプレイ sRGB 画像データ用に製造されたディスプレイに対応しており、白色点の色度は CIE 標準イルミネラント D65 に等しい。それ自体、それらはなんの調整または修正なしに直接典型的 RGB モニターに表示されるかも知れない。XYZ/SCID 画像は、図 3.8 に示すように 8 枚の自然画像 (CMYK/SCID 画像とは異なる絵柄) と 6 枚の合成画像を含んでいる。合成画像はカラーチャートと 1 組の絵を含んでいる。



N1 女性とグラス



N2 花



N3 釣り具



N4 民芸品



N5 野火



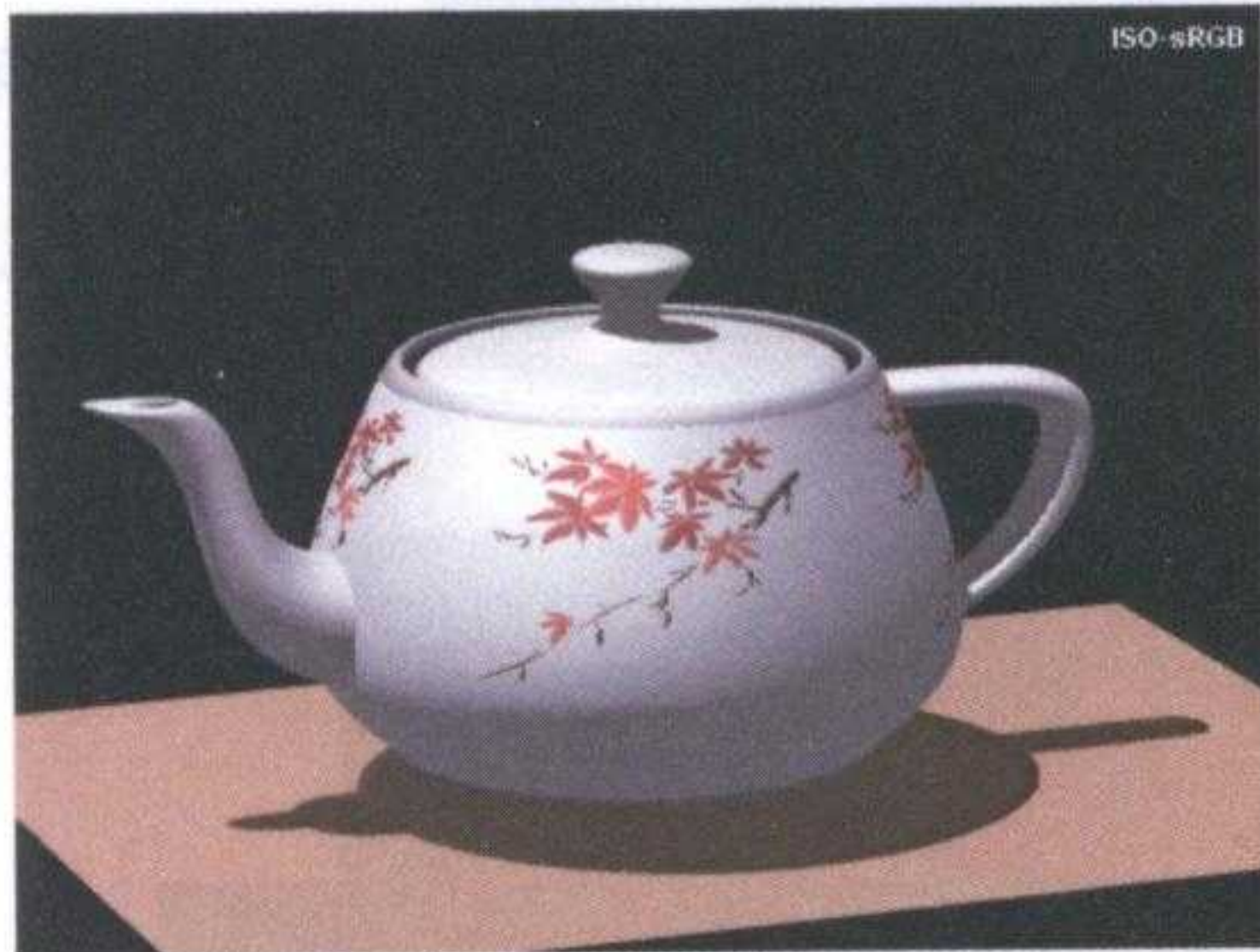
N6 波止場



N7 毛糸



N8 銀製品



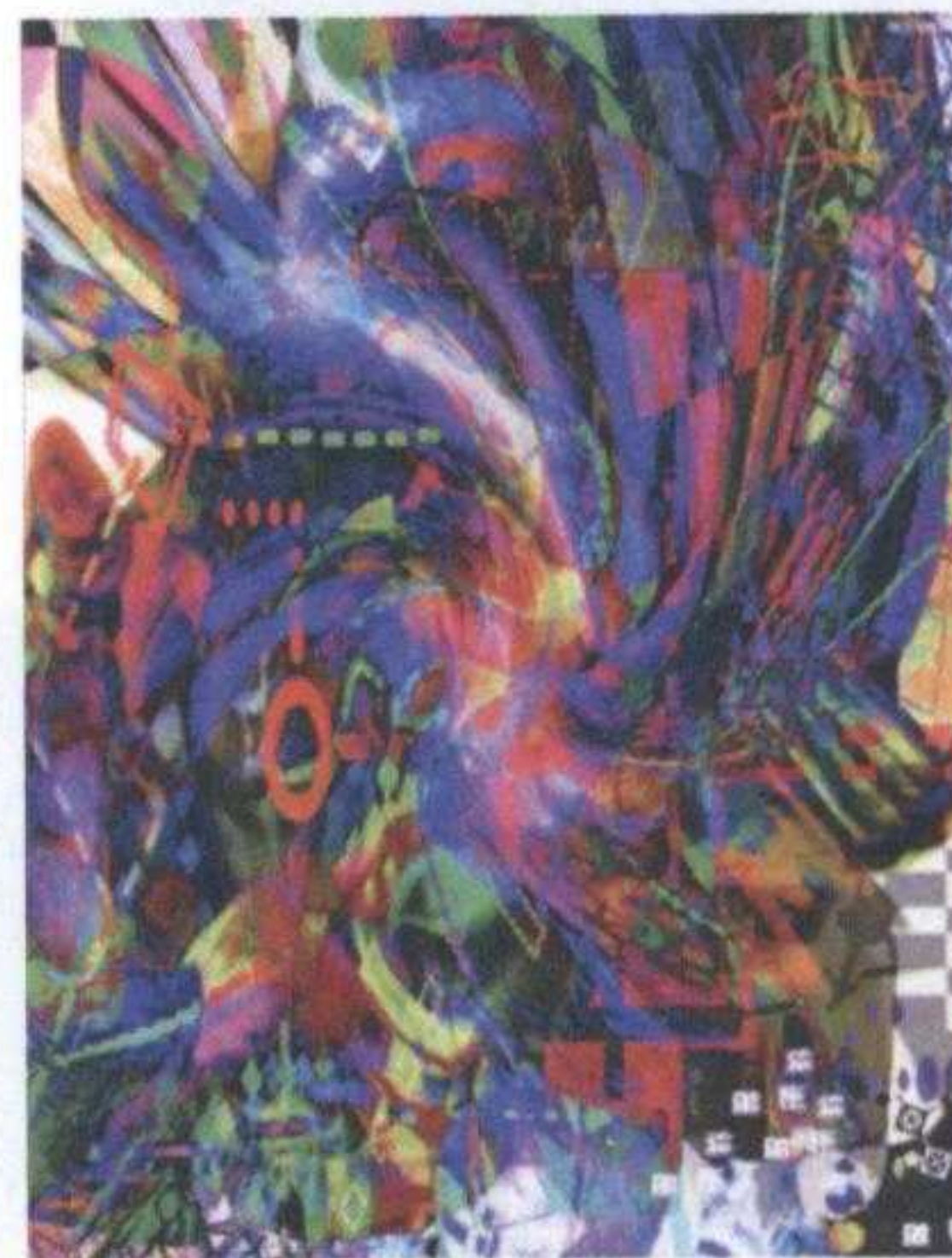
S1 ポット



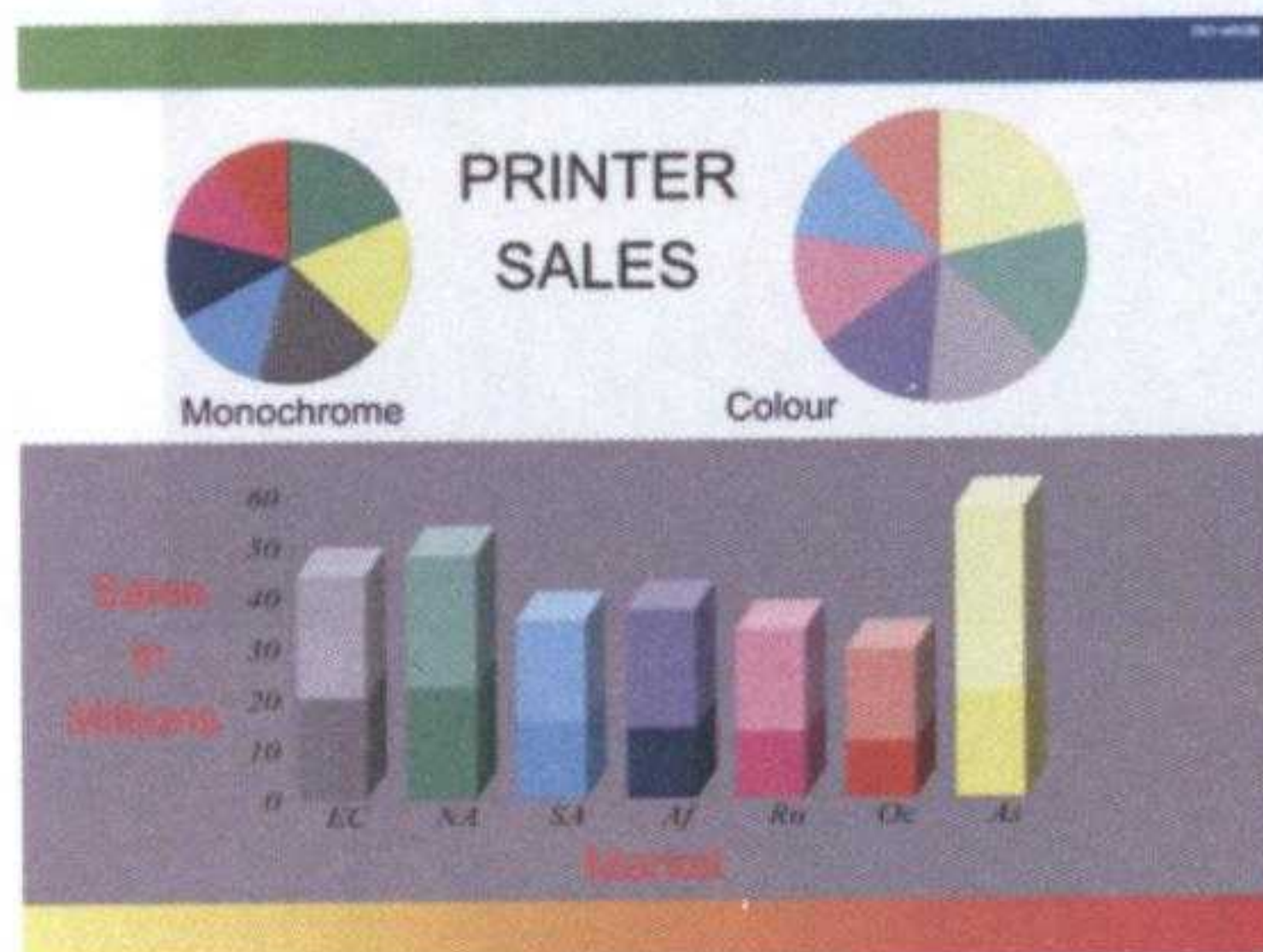
S2 フクスケ



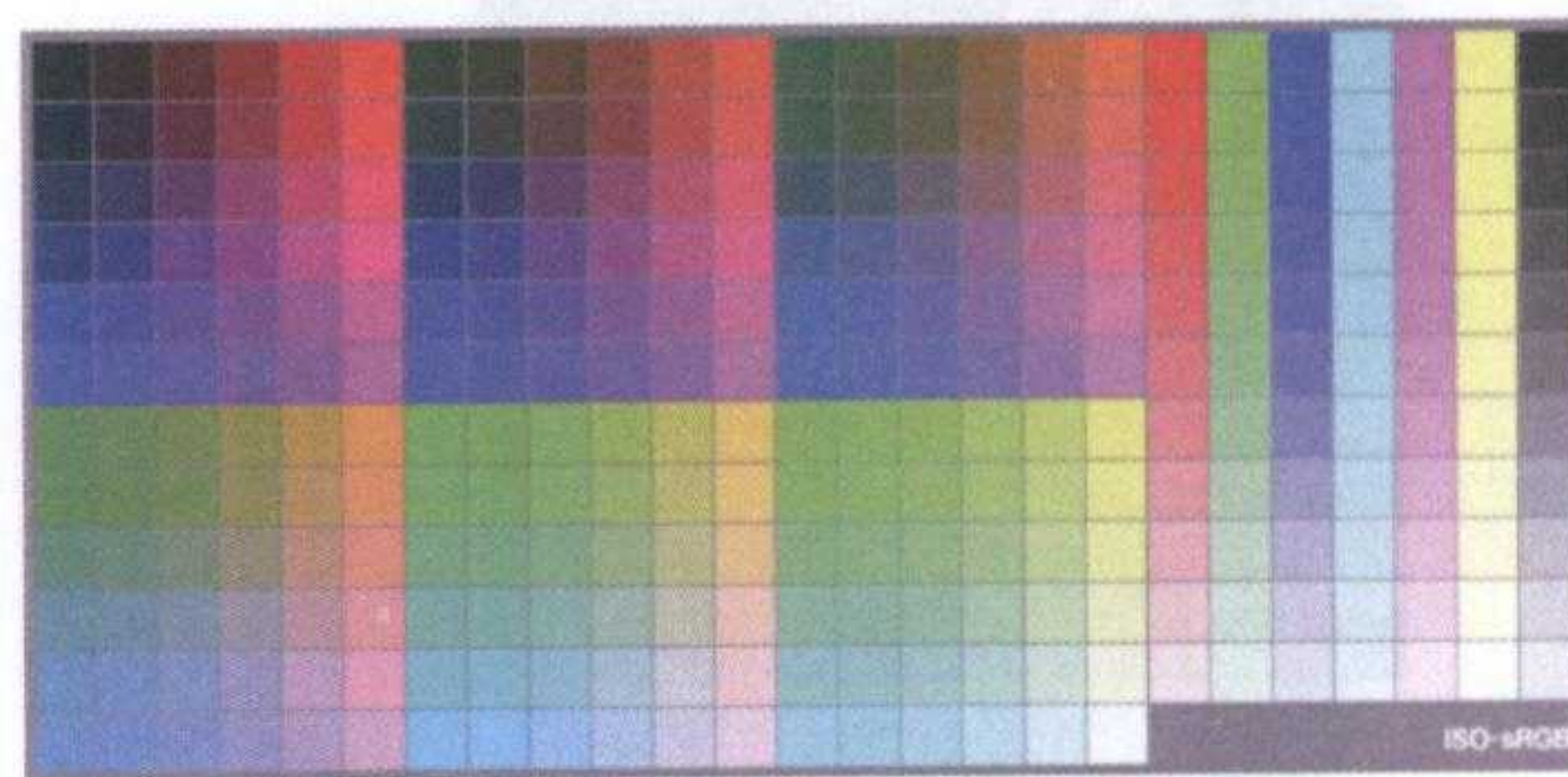
S3 猫



S4 スポーツ



S5 ビジネスグラフ



S6 カラーチャート

図 3.8 XYZ/sRGB 符号化標準カラー画像データ (XYZ/SCID)

3.3.3 CIELAB/SCID 画像

CIELAB/SCID 画像は ISO 12640-3 [53]に含まれている。この標準の一部として、現実の世界において広く利用可能な表面色と再現装置の最大色域を代表する参照色域が定義されている。画像はこの色域を満たし、一貫して“好ましい”外観をもつように選択され修正されている。